

# ＜重要＞ 宮城県内に緊急事態宣言発出へ

## ～感染から身を守る、他の人に感染させない行動を～

2021・8・26 新型コロナウイルス感染症対策会議

新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大を受け、**27日から宮城県内に緊急事態宣言が発出**される見込みです。デルタ株は、従来型の約2倍の感染力があり、重症化リスクも高いとの指摘があります。これまでの感染対策では防ぎきれず、特にワクチン接種率が低く、活動が活発な10～30代の人たちの新規感染者数に占める割合が高くなっています。

### ・ 若い人でも、身近に迫る感染・重症化のリスク

デルタ株の感染力は非常に高く、感染しにくいとされてきた若い人にも感染リスクが高くなってきています。また、感染者数の急増により医療機関がひっ迫し、医療崩壊の危機に直面しており、十分な医療を受けることができず、重症化してしまうリスクや、「命の選別」も現実のこととなりつつあります。

宮城県内では、直近10日間の新規感染者数は県民の1000人に1人に当たる2000人となっています。少ないように感じるかもしれませんが、感染の有無に関係なく1人毎日1人に濃厚接触したと仮定すると、感染者との接触の確率は1%になります。さらに、間接的な濃厚接触者（濃厚接触者の濃厚接触者）になる可能性は10%にもなる計算です。実際、本学関係者の感染や濃厚接触あるいは体調不良でPCR検査対象となった等の事例も報告されています。

この様に感染・重症化リスクの非常に高い状況を十分に理解し、徹底した感染防止のための対策を講じてください。

### ・ 徹底した感染防止対策 ～感染から身を守る、他の人に感染させない行動を～

感染防止のための基本的対策は以下の通りです。集団免疫\*の獲得されていない状況では、ワクチン接種の有無にかかわらず対策を講じることが必要です。

感染者との濃厚接触が確認された場合、濃厚接触者は2週間の自宅での経過観察が必要になり、感染した人以上に行動制限の期間が長くなる事もあります。「感染しない・させない」ことはもちろん、「濃厚接触者にならない・しない」ためにも、普段生活を共にしている方以外と、濃厚接触に該当する行動は行わないようにしましょう。

#### 感染リスクを下げる行動を心掛ける

不要不急の外出は控える。・・・行動する前に、「今必要かどうか」、「適切かどうか」考えましょう。

買い物などでは、まとめ買いをするなど、外出する機会を減らす工夫をしましょう。

人との対面での接触を極力控え、非対面での接触を検討しましょう。

家庭内などで普段飲食を共にしている人以外との飲食等は控える。

#### 正しいマスク着用の徹底・・・マスクをしない状態での会話は絶対に行わない

家庭内など普段飲食を共にしている人以外との会話をする場合は、必ずマスクを着用する。

発話するだけでなく、聞く人もマスクをすることが必要。

・・・飛沫防止効果は100%ではありません。吸い込むリスクも考えましょう。

不織布マスクを正しく着用する。

・・・ウレタンマスクや布マスクの効果は限定的。鼻を出した状態では、飛沫を吸い込むリスクがあります。

#### 3密の回避と健康・衛生管理の徹底

人と人との間は、1m以上を確保する。

対面での会話は、シールド越しか2mの距離を確保する。

密閉空間、狭い空間は避け、換気を徹底する。

継続的な体調の確認と記録、こまめな手洗い・消毒を徹底する。

## ・ 感染症終息に向けワクチン未接種の方は接種について検討してください

新型コロナウイルスのワクチン接種により、感染リスクとともに、万が一感染した場合でも重症化リスクや他の人に感染を広げるリスクを下げることが明らかとされています。

感染症終息への切り札として集団免疫\*の獲得に向けたワクチンの接種が進められています。県や仙台市の大規模接種、集団接種、および個別接種の対象が18歳以上となりました。一方、大学拠点接種について、新たな申請受付について決定しておらず、実施の有無等を含め決定し次第連絡いたします。このため、接種を希望する方は、大規模接種、集団接種、および個別接種を含め検討していただくこととなりますが、現在希望者が多く、新規の申請受付は開始後すぐに埋まる状況で、次の申請受付を待つ必要があります。

接種が難しい状況ではありますが、一人一人の感染・重症化リスクを下げるのが、感染症を抑え込む上で最も効果的な方法です。集団免疫獲得の目安は70%以上（感染力の強いデルタ株の出現により80~90%とも）とされていますが、日本での2回のワクチン接種による免疫獲得率は、40%を超えたところで、感染対策の解除にはさらなる接種率の上乗せが必要となっています。

諸外国ではワクチンの接種証明があると飲食店内を利用できるようにする（接種証明がないと入れない）など、ワクチン接種者向けに行動制限を緩和する措置がとられています。日本においても、8月3日に官房長官が2回接種後の行動制限の緩和について検討する旨の発言があったとの報道がありました。あるプロ野球球団は、「2回のワクチン接種済みを条件に観戦チケットを販売」との報道もありました。今後、2回接種した方の割合が高くなれば、接種した人に対する制限緩和を求める声が強くなることも考えられます。

ワクチンの接種に対しては、副反応の不安などから躊躇される方も多いと思います。また、健康状態やアレルギー等により接種できない方もいます。発熱や痛みなどの副反応が、2~3日程度ではありますが低くない頻度で生じることも報道されている通りです。その一方で、悪意のある一部の者が、ワクチン接種に関するその情報をSNSで流し、反ワクチン接種キャンペーンにより多額の広告収入を得ているとの報道もあります。集団免疫を獲得し、現在の様々な制限を完全に解除するためには、多くの人がワクチンを接種する必要があります（自然免疫獲得もありますが、その場合多くの方の犠牲が伴います）。

もちろんワクチン接種は、個人個人の自主的な判断にゆだねられています。様々な不安があるかと思いますが、自身の「感染リスク・重症化リスク・他者に感染させるリスク」を下げ、大学生活や社会全体としての「活動を活発化」させるメリットと、副反応によるデメリットのリスクを正しい情報を基に十分に考え、今判断することが一人ひとりに求められています。

副反応については、以前に紹介した厚生労働省のQ&Aや東北大学作成の動画などを是非ご覧頂き、判断の参考にしてください。

接種の判断をされた場合は、積極的に大規模接種、集団接種、および個別接種の受付状況を把握し、申請手続きを行ってください。

### <参考資料>

厚生労働省 新型コロナワクチンQ & A <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/safe/>  
「新型コロナウイルスワクチンにまつわるウソ？ホント？（宮城県学生向け）」: <https://youtu.be/E2ImDnF19QU>

\* **集団免疫**： 感染症は、病原体（ウイルスや細菌など）が、その病原体に対する免疫を持たない人に感染することで、流行します。ある病原体に対して、人口の一定割合以上の方が免疫を持つと、感染患者が出ても、他の人に感染しにくくなることで、感染症が流行しなくなり、間接的に免疫を持たない人も感染から守られます。この状態を集団免疫と言い、社会全体が感染症から守られることとなります。（厚生労働省 HP <https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/> より）